

津波データベースの更新による津波警報等の改善について

平成19年11月28日より新しい津波データベースによる津波警報等の運用を開始します。より細かな海底地形を考慮することなどにより、津波警報等の精度向上が期待できます。

平成19年11月28日より、津波警報・津波注意報（以下、津波警報等）に用いる津波データベースを更新し、津波警報等の改善を図ります。

新しい津波データベースにおいては、近年の数値シミュレーション技術の進展等を取り入れ、津波警報等の精度向上のため、現在の津波データベースに下記のような改善を行いました。

津波の伝播過程をより正確に計算するため、海底摩擦による減衰効果を考慮

より細かな海底地形に対応するよう、現行2または4 kmの計算格子を全領域緯経度1分間隔（約1.5 km）に細分化

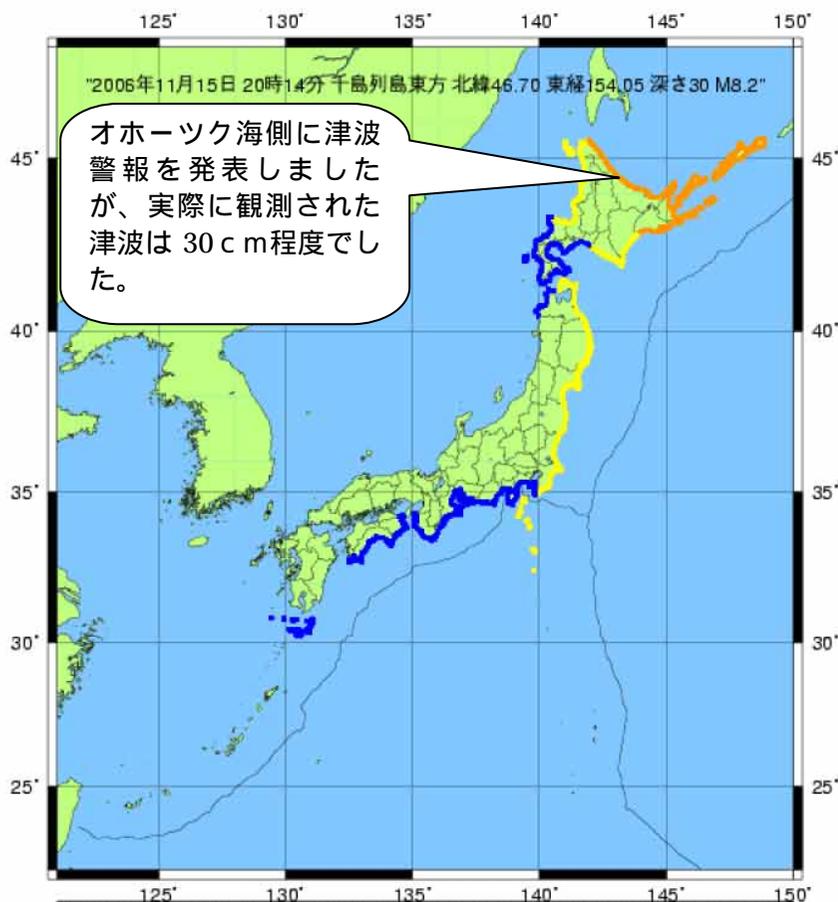
沿岸における津波の高さの精度向上のため、平均30km沖合の予測地点を平均15km沖合に変更

沿岸での津波の高さの予測精度（各地の観測値と予測値の差の平均）について、過去に発生した津波で検証したところ、2006年11月15日の千島列島東方の地震では38%、「昭和58年（1983年）日本海中部地震」では15%改善されました。

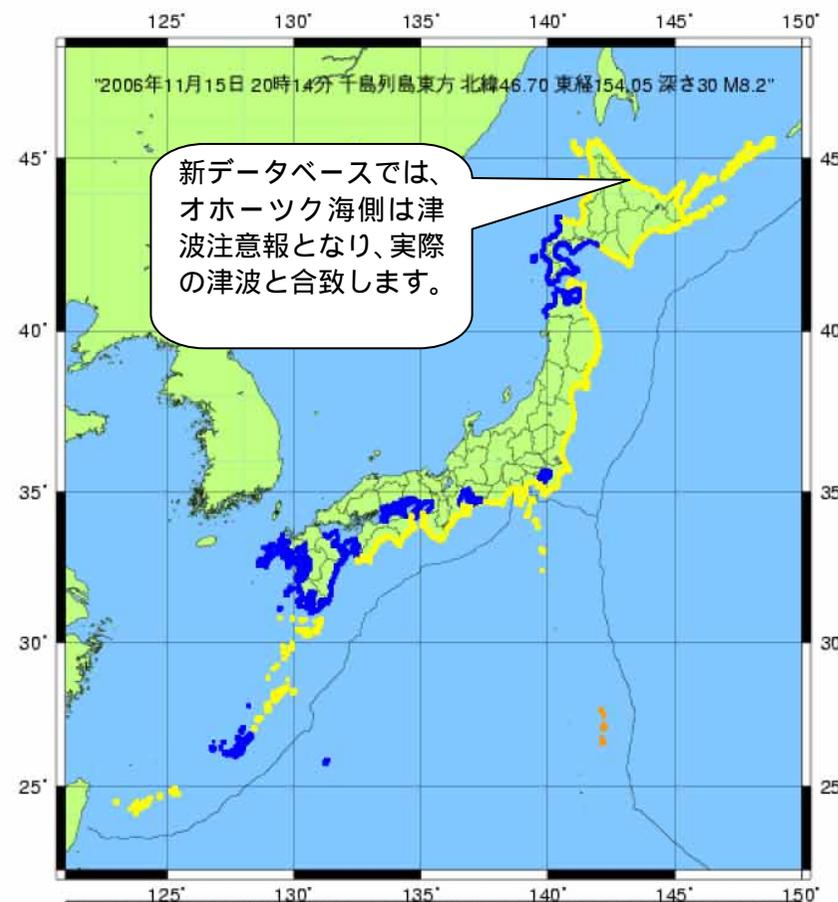
【問い合わせ先】気象庁地震火山部地震津波監視課

電話 代表：03 - 3212 - 8341 内線4542

2006年11月15日 千島列島東方の地震を想定



現行データベース



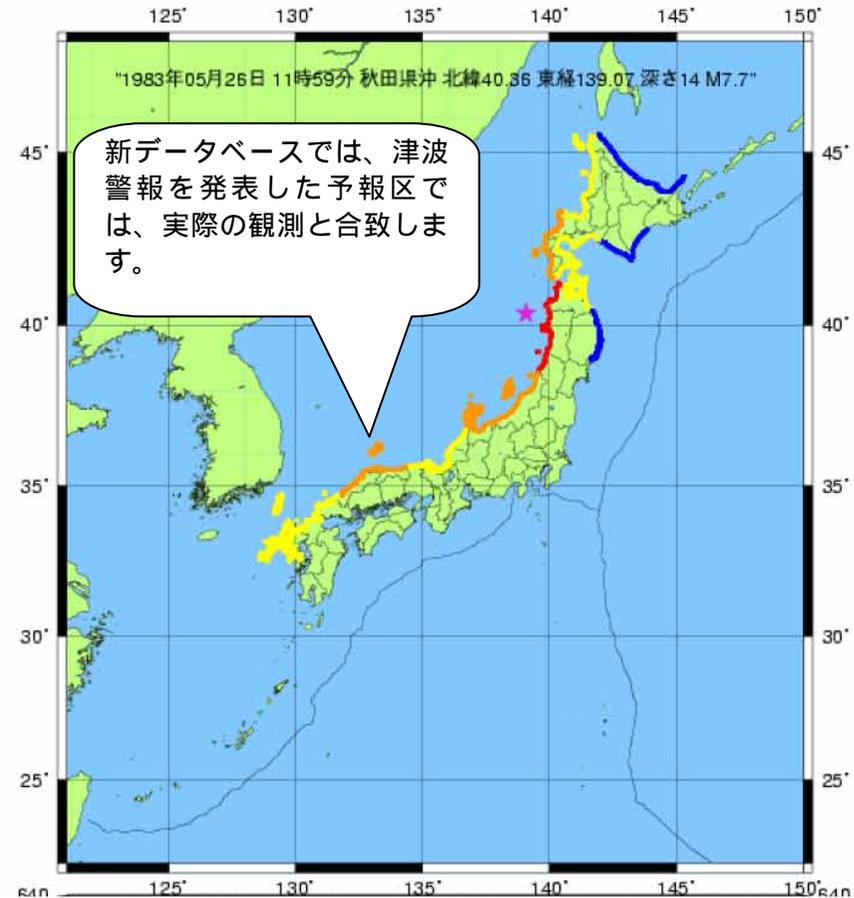
新データベース

- (橙) 「津波警報」(津波)
- (黄) 「津波注意報」(津波注意)
- (青) 「若干の海面変動あり」
- 「津波の心配なし」

「昭和58年(1983年)日本海中部地震」を想定



現行データベース



新データベース

- (赤) 「津波警報」(大津波)
- (橙) 「津波警報」(津波)
- (黄) 「津波注意報」(津波注意)
- (青) 「若干の海面変動あり」
- 「津波の心配なし」